

みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語の国際デー

市町の避難「勧告」が避難「指示」に一本化されました (5/20 から)

これまで危険度が2番目に高い「レベル4」の避難「勧告」が避難「指示」に一本化されます。避難指示は「危険な場所にいる全員が速やかに避難行動を取るよう促す」ものです。すぐに避難場所や安全な場所に立ち退き避難しましょう。

「線状降水帯」情報発表 (6/17 から)

続々と雨雲が発生し、次から次へと線状に列をなして同じ場所に長く大雨を降らす「線状降水帯」の発生情報が気象庁から発表されます。昨年の熊本県球磨、一昨年の武雄・大町、その前の福岡県朝倉の豪雨など毎年20回くらい発生、そのうち8割方床上浸水、土砂災害が発生しています。



電話リレーサービス7月1日からスタート



6月1日から利用登録開始されています。聴覚障害者にとって大きな障壁のひとつである電話のバリアフリーに向けての「電話リレーサービス」が公的インフラとして7月1日からスタート。24時間365日双方向の発信、緊急通報ができるサービスです。あらかじめ聴覚障害者等の利用登録が必要です。電話料はかけた者の負担です。料金は次の通り。

月額料	あり	なし
1番号あたり 178.2円/月 (税込み)		
通話料	33円/分	44円/分
携帯電話着	(税込み)	(税込み)
固定電話着	5.5円/分	16.5円/分
	(税込み)	(税込み)

緊急通報、フリーダイヤルはいずれも無料です。利用登録の申込み方法は当面アプリのみです。困ったら、センターに相談してください。

3年度の第1回運営委員会 開催 (5/26)



委員9名出席、東京、神奈川等県外委員はコロナ禍のため欠席。2年度の事業報告、3年度の事業計画、聴覚障害者等くらしのニーズ調査、全スポ情報支援者の養成状況について審議され了承されました。

シリーズ (42) 山口相談医のひと言コメント

耳垢・耳掃除について その1



皆さんは耳そうじをしていますか？今回は耳そうじと耳垢についてです。

耳掃除といえば、時代劇で女性の膝枕で、十手持ちの旦那が、竹製の耳かきで掃除されている場面が思い浮かびますが(その様な発想は私だけでしょうか?) 実は今の考え方でいくと、コレはNGです。

耳 の中がよく見えない状態で触ると、耳垢を奥に押し込む可能性があります。部分的に除去できても、奥に押し込むと耳垢は奥で溜まるようになって、詰まらせてしまう事があるからです。奥で耳垢を詰まらせると、自然に排出されなくなって、難聴や耳閉感を生じたり、外耳道炎からの痛みを生じたりします。

ア メリカで、医薬品などの統制を行うFDAという機関では、耳のそうじはしないほうが良いと通告しているそうです。外来で耳垢を詰まらせてしまっている方の多くは、「いつも掃除しているのに、こんなに溜まっていたんですか？」と驚かれます。キレイにしているつもりが、逆に垢を溜め込んでいたわけです。

日 本でも幾つかの自治体で、「耳そうじはやめましょう」というPR動画を公開しているそうです。例えば、日本耳鼻咽喉科学会静岡県地方部会の学校保健委員会作成の「耳のそうじは本当に必要なの？」があります。おヒマでしたら、ネットで検索してみてください。

要約筆記者養成講座 開講(6/5)

佐賀市報を見て4名、佐賀市の短期講座受講1名等6名が受講。動機としては、接客業でマスクしているので伝える工夫を、社会との繋がり・ボランティアをしたい、社員が突発性難聴になったので意思疎通方法を学びたい等。10月30日までの講座です。



巡回聞こえの相談

要予約

6月23日(水) 10時~15時 嬉野市中央公民館(塩田公民館)

7月7日(水) 10時~15時 上峰町おたっしや館

8月18日(水) 10時~15時 諸富支所

編集後記：今年は長梅雨になりそうです。カエルが一斉に鳴き始めました。(m)

初の「聴覚障害者くらしのニーズ」調査 シリーズ<1>

~聞こえないことに起因する意思疎通コミュニケーションがとれないことからの課題が求められる。

サポートセンターでは、県障害福祉課の委託を受けてはじめての「聴覚障害者のくらしニーズ調査」を昨年4月から5月にかけて行い、3月末に報告書としてとりまとめました。

県内に居住するろう者、難聴者、情報支援者369名を対象とし郵送等により調査票を送付回収した。当初面接調査の予定でしたが、佐賀県内で新型コロナ患者第1号が昨年3月に発生したことから郵送調査に切り替えました。206名から回答が寄せられました。(回収率55.8%)

○調査内容は1.暮らし全般、2.仕事・収入、3.住まい、4.健康・医療、5.介護・介助、6.日常の楽しみ、7.地域社会との関わり、8.相談相手、9.災害時の情報入手と多岐にわたりました。

○各項目ごとの結果・課題等については次号以下に掲載します。

TOKYO 2020 オリンピック聖火リレー

令和3年5月10日(月) 大町町 第5走者

鶴崎與市郎 ~写真展~



東京2020オリンピック聖火リレーは佐賀県では5月9日、10日全市町を巡るコースで行われました。全国21名のろう者ランナーのうち、鶴崎與市郎さんが郷里大町町の第5走者として聖火を繋ぎました。

サポートセンターでは5月26日から聖火リレーのミニ写真展を行っています。その時のトーチも展示しています。

7月1日から本格的にします。佐賀みみサポ写真コンテスト特別企画「2020」も併せて行います。

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 (佐賀商工ビル4階)

TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705

メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

<開館時間>

9:30 ~ 18:00

<閉館日>

毎週月曜日、祝日、年末年始